木もれ陽

第272号

2025.9.1

泉公民館

〒329-2504 矢板市泉526

TEL：0287-43-0402

■いずみ元気塾

●7月1日はヨガを体験しました。

はじめは体のこわばりを感じていた参加者も、呼吸を意識しながらゆっくりと動かすヨガを続けるうちに「体が軽くなってきた」「気持ちがすっきりしてきた」と笑顔に。和やかな雰囲気の中で、心と体を整えるひとときを過ごしました。

参加者からは、「ふだん使わない筋肉を意識できた」「無理なくできてよかった」といった声もあり、初心者でも安心して参加できる内容でした。

日常の忙しさを少し忘れ、リラックスできる時間となりました。

●8月19日のいずみ元気塾は「室内ペタンク」を開催しました。

参加者は和やかな雰囲気の中、スポーツ推進委員さんの指導の元プレーを楽しみました。チームに分かれて競い合う中で、笑い声が飛び交い、自然と交流も深まりました。初めて体験する方もすぐにコツをつかみ、白熱したゲーム展開となりました。

■みらいのたね・やいた家庭教育学級

●「釜のふたまんじゅうづくりに挑戦」開催

7月26日、泉公民館では「みらいのたね」企画として、親子で楽しめる「釜のふたまんじゅうづくり」を開催しました。

「釜のふた」とは、栃木県北地域に古くから伝わるお盆の伝統行事で、8月1日（釜の口開けの日）に、あの世の釜のふたが開いてご先祖様が帰ってくるとされ、この日にあわせてまんじゅうなどを供える風習があります。

親子で丸めた生地にあんこを包んで蒸し器で蒸し、出来立てのまんじゅうを味わいました。

参加者からは

「初めて作ったけれど、上手にできて嬉しい！」

「子どもと一緒に、地域の風習を学べてよかった」

といった声が寄せられ、楽しく、学びのある時間となりました。

●「夏休みの絵画・ポスター教室＆おしゃべり会」開催

8月3日、泉公民館では「みらいのたね」企画として、「夏休みの絵画・ポスター教室＆おしゃべり会」を開催しました。

子どもたちは、講師から絵を描くコツや発想のヒントを教わりながら、夏休みの課題に取り組みました。真剣な表情で筆を動かす子どもたちの姿が印象的でした。

その間、保護者の方々は別室で看護師さんによるお話会に参加。「私という奇跡の命」をテーマに、命の大切さや子育てへの向き合い方について、お話を聞き、参加者から「子育てを振り返るとてもいい時間だった」と言った声が聞こえ、親子それぞれが学びと気づきのある時間を過ごしました。

■みらいのたね　9月～10月の予定：広報チラシで募集！

9/6(土)　水辺の生き物を知ろう！～ザリガニ釣り体験～

9/20(土)　星空観察教室　～片岡の夜空を見てみよう～

10/4(土)　親子プログラミング教室　中級編

～選べるテーマで自分だけのプログラミング～

10/14(火)　陸上自衛隊宇都宮駐屯地見学ツアー

～国を守る仕事について楽しく学ぼう～

■泉地区花いっぱいコンクール

7 月 16 日、「泉地区花いっぱいコンクール」が開催されました。

今年は 6 地区が参加し、それぞれが工夫を凝らした花壇を披露しました。地域の皆さんの手による花づくりからは、日ごろの丁寧なお世話と花への愛情が感じられました。

審査結果は以下の通りです。

- 優秀賞：田 野 原
- 優良賞：上伊佐野
- 優良賞：東　　泉

■イベントのお知らせ

■いこいず収穫祭に泉地域ふれあい祭り模擬店を出店

- 日　　時／10 月 18 日（土）10:00～14:00
- 場　　所／泉きずな館
- 内　　容／模擬店（焼きそば、とん汁、飲み物）で提供
- そ の 他／誰でも参加できます

※10/18(土)と 19(日)には、泉地区作品展も開催します

■グラウンドゴルフ大会

- 日　　時／11 月 2（日）9:00～12:30
- 場　　所／泉きずな館グラウンド
- 内　　容／泉地区在住者なら誰でも参加できます
- 参 加 費／無料、賞品を用意しています
- 雨 天 時／室内で輪投げ大会になります
- 用　　具／無い方は貸し出しします
- 申し込み／10 月回覧する「お知らせ」で申込ください
  （高齢者学級は別途通知）

■いずみ・時の旅

■寺子屋が３校もあった平野村

寺子屋というのは今で言う学校のことで、ここでは「読み・書き・そろばん」が教えられていました。教師は師匠、生徒は筆子（ふでこ）と呼ばれ、師匠はその村の役人や僧侶・神主などが勤めていました。

この寺子屋が、幕末から明治中頃にかけて、平野村には３校もありました。

その一つは「松訓堂」で、西洋医者と呼ばれた関谷欣平が自宅に開校したものです。欣平は二十歳の時に長崎の出島に赴き、3 年間医術を学びました。ただ、この時期にシーボルトは国外追放中でしたので、シーボルトからの直接指導はありませんでした。その後帰国し自宅で医院を開業し、その傍ら近所の子ども達を集めて勉強を教えたのでした。

二つ目は、平野自治公民館の裏手にあった「明徳校」です。師匠は高萩市出身の鈴木寿一郎が当たりました。ここには、平野村民のみならず幸岡や豊田から子ども達が通っていました。

三つ目は、平野村の庄屋を勤めた若目田家の屋敷内にあったものですが、校名は不明です。ここでは４７名の子ども達が確認されていますが、田野原や上伊佐野、そして大田原市の石上、更には塩谷町の寺島とかなり広範囲から通っていたようです。

この３基は筆塚あるいは筆子塚と呼ばれ、寺子屋の師匠などをしのんで、教え子たちが建てた記念の碑。

当時は、こうした寺子屋が全国に約２万校あったとされています。幕末の頃に日本にやって来た外国人がまず驚いたことは、子ども達が本屋の店先で立ち読みをしていたことだそうで、識字率の高さは世界でもトップクラスだったようです。

郷土史家：白石・記

●編集後記

朝夕には涼しい風が吹きはじめ、少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。今月号でも、地域で行われた講座やイベントの様子をご紹介しています。

参加された皆さんのいきいきとした表情から、地域のつながりや交流の大切さを改めて感じることができました。

又、今号から郷土史家の白石様の連載企画が始まりました。

次号以降もお楽しみにしていてください。

泉公民館

〒329-2504 矢板市泉 526

TEL　0287-43-0402